

I 策定の趣旨

本市では、平成17年6月に策定した第1次宗像市総合計画に、新しいまちづくりを進めていくための政策の大きな柱の一つとして、「市民活動の推進」を掲げています。そして市民活動を推進するため、これまでに子育てや環境、健康福祉、芸術文化、スポーツなど、様々な分野での自発的な学習の促進と人材育成をはじめ、まちづくりに取り組む市民活動団体やコミュニティ運営協議会の育成・支援などに務めてきました。

その間、市民活動の推進につながる条例や計画を策定し、各種個別の事業を実施してきました。代表的なものとしては、創造豊かで活力あるまちづくりを推進するための「市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例（市民参画条例）」をはじめ、コミュニティ活動の推進を図るための基本指針を示した「コミュニティ基本構想・基本計画」、環境保全・創造の施策・事業の基本となる「環境基本計画」、文化芸術の推進のために具体的な施策の指針を示した「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」などが挙げられます。

いずれの条例や計画の中にも、市民や市民活動団体、コミュニティ運営協議会、大学、民間企業、行政が連携・協働し、それぞれの分野で役割分担をしながら、市全体のまちづくりにつなげていく具体的な施策が盛り込まれています。

しかしながら、各種計画の中の市民活動の推進について、体系的にまとめたものはありません。

そこで、市民活動推進プランを作成し、市民活動について体系的にまとめ、これらの活動をいま以上に効果的・効率的に推進して行こうとするものです。

II 策定の理念

～自発的・主体的な活動で豊かな生きがいのある暮らしを実現～

豊かな生きがいのある暮らしが実現できるまちをつくっていくことは、宗像市民みんなの権利であり、務めでもあります。

市民活動推進プランの理念である「自発的・主体的な活動で豊かな生きがいのある暮らしを実現」するため、キーワードとなる市民活動団体やコミュニティ運営協議会、大学・民間企業、生涯学習、協働の5つの分野について現状と課題を分析し、市民活動推進のための具体的な施策についてまとめていきます。